

「チェンマイ景観データベース構築に関する研究」中間報告会

日タイ修好 120 周年記念事業

古都奈良とチェンマイの地域交流フォーラム

Cultural and regional exchange forum between Chiang Mai & Nara.

「市民主体による景観保全と地域防災の可能性を探る」

「Possibility of landscape preservation and disaster prevention
in ancient cities by citizen's participation」



報 告 書

2007 年 12 月

JICA シニア海外ボランティア

JICA Senior Volunteer

景観保存 上嶋 晴久

Haruhisa Uejima

目 次

1. JICA現地研究中間報告会・地域交流フォーラムの写真
2. JICA 現地研究中間報告会・地域交流フォーラムの概要
3. 開催の経緯
4. 開催の目的と期待される効果
5. JICA 現地研究中間報告会・地域交流フォーラムの内容
6. JICA 現地研究中間報告会・地域交流フォーラムの成果
7. 会場費決算
8. 組織(協力者等)
9. 詳細資料
 - 報告会(フォーラム)の詳細内容
 - 日本語チラシ
 - タイ語チラシ
 - 上嶋当日資料
 - 岩井当日資料
 - フォーラム出席者名簿
 - 日本からの渡航参加者名簿
 - 掲載新聞(CHAO)
 - (社)奈良まちづくりセンター概要 日本語版、英語版

1. JICA現地研究中間報告会・地域交流フォーラムの写真



正面



会議風景1



会議風景2



会議風景3



横田 在チェンマイ日本総領事



トンチャイ チェンマイ副知事



トンチャイ氏、横田氏、二十軒氏



ティアムラット氏(通訳:坂本氏)



上嶋氏(通訳:ナウイット氏)



米村氏(通訳:シリワン氏)



ドアンチャン氏(通訳:津田氏)



タニット氏(通訳:坂本氏)



岩井氏(通訳:ナウイット氏)



倉又氏、藤野氏、ナウイット氏



フォーラム風景



主催者集合写真

2. JICA 現地研究中間報告会・地域交流フォーラムの概要

名 称

JICA 現地研究「チェンマイ景観データベース構築に関する研究」中間報告会
日タイ修好 120 周年記念事業 古都奈良とチェンマイの地域交流フォーラム
「市民主体による景観保全と地域防災の可能性を探る」

JICA 現地研究報告会

主催 JICA タイ・シニア海外ボランティア 景観保存 上嶋晴久
協力 チェンマイ県土木・都市計画事務所、チェンマイ県

古都奈良とチェンマイの地域交流フォーラム

主催 社団法人 奈良まちづくりセンター
共催 JICA タイ・シニア海外ボランティア 都市計画支援チーム
協力 チェンマイ県土木・都市計画事務所、チェンマイ県
後援 在チェンマイ日本国領事館
助成 日タイ修好 120 周年記念事業草の根助成

開 催 日 2007 年 8 月 25 日(土曜日) 午後 12:30 ~ 6:00

開催場所 アマリリンカムホテル・チェンマイ 1 階 Payorm Room



3. 開催の経緯

チェンマイは700年を越える歴史を持つ地域であり、城壁をはじめ各所にランナー文化の遺跡や寺院、市民生活の民家やショップハウスなどの歴史文化遺産が多く存在し又、周辺の山並みやピン川の自然、近郊の農地と共に緑豊かな風景・景観も残されています。

一方、都市化も急激に進行しており、中心部はもとより衛星都市や周辺のムバーン(新興住宅地)開発も活発に行われ、今後ますます都市化の進行は避けられないのが現状であり、現在改定中の都市総合計画は土地利用の見地と法的性格上、都市景観としての切り口からの施策としての言及は少なく、多様化する建築物等の形態をはじめ、歴史遺産との共存や町並み保全、自然環境保全等、今後のより良い景観保全や地域防災という見地から現在のチェンマイの実情を把握し今後のまちづくりに生かす必要があると考えます。

チェンマイ県土木・都市計画事務所において、JICA シニアボランティア景観担当により、チェンマイ県都市総合計画区域内での景観データの収集と、多くの人々に活用できる景観データベースの構築を目指した JICA 現地研究が進められており、研究プロセスにおいて多くの関係機関や団体の協力参加を呼びかけ実施しています。

また、2003年より民間交流として(社)奈良まちづくりセンターとチェンマイ都市開発研究財団が歴史都市における開発や保存・再生と言う都市化に伴う景観や防災等を、互いの共通問題として学びあい活かしあう活動として交流が進められていますが、折しも本年は日タイ修好120周年であり、団体間から地域間のより多くの人々の交流による成果が期待されています。

そして今回、JICA 現地研究「チェンマイ景観データベース構築に関する研究」の中間報告と日タイ修好120周年記念事業「古都奈良とチェンマイの地域交流フォーラム」とを共同開催することにより、国や地域、団体間の垣根を外し、古都どうしの景観や防災等の都市成熟化に伴う諸問題を話し合う機会を通じ、問題意識の共有と発展的な地域交流の好機を提供するものであります。

4. 開催の目的と期待される効果

- (ア) 日タイ修好120周年記念事業として、都市成熟化に伴う諸問題を話し合う機会を通して奈良とチェンマイ相互の地域交流の輪を広げ、日本とタイの友好親善に寄与する。
- (イ) 住民自らが地域の景観や防災の重要性に対する認識を深め、住民主体及び住民参加の「まちづくり」により、住民と行政の協力関係のきっかけづくりとする。
- (ウ) JICA 現地研究「チェンマイ都市総合計画区域における景観データベースの構築に関する研究」の中間報告により、チェンマイの景観保全に対する認識を深める。
- (エ) 日本とタイにおける景観保全や地域防災の取り組みについて、一般市民や産、官、学、JICAの各関係者の知識と問題意識の共有を図り互いに学び合うことにより、今後の計画立案のための指針づくりとする。

5. JICA 現地研究中間報告会・地域交流フォーラムの内容 (添付詳細資料参照)

PM 12:30 受付開始

PM 13:30 開会

・司 会 アディサック・ノースワン 土木・都市計画局(通訳:津田)

・趣旨説明 二十軒起夫(社)奈良まちづくりセンター副理事長(通訳:シリワン)

・来賓挨拶 横田順子 在チェンマイ日本国総領事

・開会宣言 トンチャイ ウォンリアントン チェンマイ県副知事(通訳:津田)

PM 14:15 事例発表

チェンマイ県の新しい都市総合計画について(通訳:坂本)

ティアムラット インシー チェンマイ県土木・都市計画事務所 都市計画担当

チェンマイの景観データベース構築(通訳:ナウィット)

上嶋 晴久 JICA シニア海外ボランティア 景観保存

配属先:チェンマイ県土木・都市計画事務所

奈良橿原市の景観・まちづくり(通訳:シリワン)

米村 博昭 (社)奈良まちづくりセンター理事

チェンマイの環境・景観・都市計画(通訳:津田)

ドアンチャン アパワチャルット チェンマイ都市開発研究財団事務局長

テサバンナコンチェンマイの景観提案(通訳:坂本)

タニット チョムセン シアム建築家協会ランナー部会 会長

PM 16:15 休憩

日本における防災まちづくりと市民参加(通訳:ナウィット)

岩井 一郎 (社)奈良まちづくりセンター理事

PM 17:15 ディスカッション(全員参加)

・コーディネーター:倉又 孝(JICA シニア海外ボランティア 都市計画)

・進 行:藤野正文、ナウィット オンサワンチャイ(通訳:坂本、シリワン)

PM 18:00 終了

6. JICA 現地研究中間報告会・地域交流フォーラムの成果

参加者	タイ人 69 名	}	合計 114 名 詳細は別添芳名帳参照
	日本人 43 名		
	その他 2 名		

フォーラムの反響

チェンマイ県トンチャイ副知事をはじめ、横田在チェンマイ日本国総領事の出席を得て開催された JICA 現地研究「チェンマイ景観データベース構築に関する研究」中間報告会に加え古都奈良とチェンマイの地域交流フォーラムは、当初の予想を上回る参加者を得ることができた。また、参加者からは、JICA シニアボランティア景観保存の取り組みが良くわかり、参加者自身の出来る事があれば今後取り組んで行きたいと言う意見を戴き、ディスカッションにおいては、タイ人からの景観や歴史認識、環境や防災等の活発な発言があり、チェンマイでの都市問題に対する認識の高さが確認できた。

社会的意義と考察

本会議は、日タイ修好 120 周年記念事業として開催され、民間まちづくり団体同士の交流から、市民、行政、学際、産業等による日本国とタイ国の地域間交流への発展の切欠づくりとして、また市民主体のまちづくりの可能性として市民自らが取り組むべきまちづくりの提案と議論が出来たことは非常に意義深い。

そして、本会議において、今後、市民による景観意識の醸成や行政や企業、研究機関による支援の重要性とチェンマイを愛する総ての人々による共同認識としての景観データベースの必要性を示すことが出来たのではないかと考える。

7. 会場費決算

収 入

JICA タイ・シニア海外ボランティア現地研究 景観保存 「チェンマイ都市総合計画区域内における景観データベースの構築に関する研究」 研究発表会関連予算	
	11.000 B
合 計	11.000 B

支 出

中間報告会費(会場:アマリリンカムホテル チェンマイ)	11.000 B
合 計	11.000 B

日本から参加者の旅費、通訳費等その他経費は別途日タイ修好 120 周年記念事業草の根助成及び(社)奈良まちづくりセンターの予算による

8. 組織(協力者等)

JICA 現地研究「チェンマイ景観データベース構築に関する研究」中間報告会

主催者 上嶋 晴久(JICA シニア海外ボランティア 景観保存、NMC 顧問)

協力者 アディサック ノーイスワン(土木・都市計画局)

スラポン サータタット(チェンマイ県 土木・都市計画事務所)

ティアムラット インシー(チェンマイ県 土木・都市計画事務所)

ドアンチャン アパワチャルット(チェンマイ都市開発研究財団事務局長)

タニット チョムセン (シラム建築家協会ランナー部会会長)

ナウィット オンサワンチャイ(チェンマイ大学建築学科講師)

古都奈良とチェンマイの地域交流フォーラム

主催者 (社)奈良まちづくりセンター(NMC)

二十軒起夫 副理事長

藤野 正文 副理事長

米村 博昭 理事

岩井 一郎 理事

長谷川 徹 理事

共催者 JICA シニア海外ボランティア チェンマイ都市計画支援チーム

倉又 孝(都市計画)

大島 忠剛(土地区画整理)

上嶋 晴久(景観保存)

坂本 真里(通訳)

その他開催協力関係者(順不同)

受付協力 佐々木 隆子(JICA シニア海外ボランティア)

上原 和子(チェンマイ ラチャパット大学日本語教師)

大友 芙美(JICA 青年海外協力隊)

通訳協力 坂本 真里(JICA シニア海外ボランティア 調整)

シリワン ニラウェート(翻訳会社)

ナウィット オンサワンチャイ(チェンマイ大学建築学科講師)

津田 幸一(ガラデヴィ マンダリンオリエンタルホテル)

会場 松下 万亀子 (アマリリンカムホテル チェンマイ)

後援、協力

タイ国 チェンマイ県

在チェンマイ日本国総領事館

9. 詳細資料

報告会(フォーラム)の詳細内容

日本語チラシ

タイ語チラシ

上嶋当日資料

岩井当日資料

フォーラム出席者名簿

日本からの渡航参加者名簿

掲載新聞(CHAO)

(社)奈良まちづくりセンター概要 日本語版、英語版